

様式 4

平成 25 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立日野高等学校
 学校長 田淵 直記

評 価 日	平成 25 年 1 2 月 1 3 日 (金)	
評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等	
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>① 学力の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路希望や能力に応じたきめ細やかな指導を行っている。 ・生徒は授業に前向きに取り組み、楽しそうに授業を受けている。 <p>② 豊かな人間性の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気にかけていた生徒が伸び伸びと良い雰囲気の中で授業を受けている。子どもたちの表情が取り組みの答えだ。 ・生活指導が行き届き、生徒の服装も良く、授業の落ち着いた雰囲気である。 <p>③ 進路指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の生徒の進路希望に応じた指導がなされ、早期から就職・進学対策がなされている。 <p>④ 光り輝く学校づくり</p> <p>鏡陵大学・黒坂小学校との農業体験交流などを通じた地域との連携をさらに推し進めるべきだ。</p> <p>(2) 説明・公表について</p> <p>広報誌「日野川」が読者の興味を引くように、読者の目線で編集されている。</p> <p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <p>学校の特色を生かした執行となっている。</p> <p>3. 取組改善のための提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽系列と国立音楽院鳥取県南部校との連携を図ってはどうか。 ・「双葉寮」の有効活用として都会の学校に適応しない生徒の受け入れを考えてはどうか。 ・アグリライフ系列の授業に林業を入れてはどうか。 ・人数が少ないことで、指導が行き届く反面、生徒同士で切磋琢磨する機会が少ないことに留意すべきだ。 	<p>引き続き授業改善に取り組み、授業力のさらなる向上を図る。</p> <p>生徒個々のニーズに応じた学習指導に引き続き取り組む。</p> <p>今後も粘り強く指導していく。</p> <p>すべての生徒の進路保障の実現に引き続き取り組む。</p> <p>交流は軌道にのってきており、地域の方の認知も進んでいる。連携を更に進めていく。</p> <p>広報誌・HPなどを通じた地域や保護者の方への情報発信に工夫を凝らす。</p> <p>引き続き魅力ある学校づくりに生かす。</p> <p>提言を真摯に受け止め、「地域と連携した高等学校の魅力づくり」事業とも連携して取り組んでいく。</p> <p>提言を念頭に置きつつ指導するよう教職員に指導する。</p>	